



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東  
 コード番号 6932 URL <https://www.endo-lighting.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 後藤 修二 (TEL) 06-6267-7095  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,758	16.0	862	35.3	1,001	7.1	760	116.5
2023年3月期第1四半期	10,135	9.0	637	△36.7	935	△19.7	351	△61.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,701百万円(14.4%) 2023年3月期第1四半期 1,487百万円(△15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	51.48	—
2023年3月期第1四半期	23.78	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	59,771	33,014	55.2
2023年3月期	57,343	31,535	55.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 33,014百万円 2023年3月期 31,535百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	8.6	1,500	28.6	1,500	△12.1	1,000	3.9	67.67
通期	48,500	6.1	4,800	55.2	4,500	23.9	3,200	8.0	216.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	14,776,321株	2023年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	152株	2023年3月期	152株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	14,776,169株	2023年3月期1Q	14,776,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇及び為替変動リスク等の不安要素を抱えつつも、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進展しました。世界経済においては、ロシア・ウクライナ情勢長期化の影響による原材料及びエネルギー価格の高騰並びに米国の金利動向に影響を受けた為替の急激な変動等、先行き不透明な状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、持続可能でよりよい社会の実現を目指し、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造及び販売に注力して参りました。

業界に先駆け製品をLED化して以降、製品のエネルギー効率の継続的な改善は製造メーカーの責務と考え、さらなる高効率照明器具の開発を進めるとともに、サステナビリティ委員会を設置し、「人と地球にやさしい未来の光」の創造に向けて、サステナビリティ経営を推進しております。

また、製造部門においては、環境に配慮した製品の提供を目指し、継続した品質改善活動及び原価低減活動を行うとともに、販売管理費の抑制に努めて参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、11,758百万円（前年同四半期比16.0%の増収）となり、営業利益は862百万円（前年同四半期比35.3%の増益）、経常利益は1,001百万円（前年同四半期比7.1%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は760百万円（前年同四半期比116.5%の増益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### a. 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、高いブランドイメージの確立に努めました。

国内市場については、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び無線調光調色器具「Tunable LEDZ」の販売促進に注力しました。電気料金の高騰やサステナビリティに関する社会的要請の高まりを背景に、既存照明器具の取り換え需要に加え、新設の商業施設やオフィス等の大型施設向け需要の取込みを強化しました。

また、自然の光、カラー演出、色味調整の三役を1台で備えた次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」の製品群を大幅に拡充し、東京事業所の体験型オフィスに引続き福岡営業所の体験型オフィス「Synca U/X Lab FUKUOKA」を活用した積極的な販売活動を展開しました。

急激な円安の進行と原材料の高騰による売上原価への影響の対応として、価格改定を行うとともに、原価低減及び販売管理費削減の取組みを継続して進めました。

海外市場については、英国において2023年5月に「S16」カタログを発刊し、顧客密着型の営業を強化しました。また、革新的なサービス・製品の提供を行ったとして、1965年から半世紀以上の歴史を持つ英国公式賞である「The King's Awards（英国国王賞）」を受賞いたしました。さらに、アジアでは、高級建築市場顧客の需要に応える「sync」シリーズの継続した新商品リリースを通じ、同市場における高いブランドイメージの確立と認知度向上に努めました。2023年6月に「sync4」WEB版カタログをリリースし、引き続き既存顧客の深耕に努めるとともに高級建築市場の開拓を進めました。

この結果、売上高は10,507百万円（前年同四半期比16.4%の増収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）となり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は1,036百万円（前年同四半期比47.7%の増益）となりました。

## b. 環境関連事業

当セグメントにおきましては、流通店舗を中心にLED照明の更新提案に注力しました。

昨今の電気料金の高騰及び初期型LED照明のメンテナンス費用の課題を解決するため、既存LED照明から最新のLED照明への更新による消費電力の削減及び店舗体験価値の向上を提案しました。特に既存店のLED照明更新の提案では、朝昼夜と時間帯で光の色と明るさを変化できる調光調色照明に取り換えることで、居心地がよく且つ消費電力の削減にも考慮したソリューションとして高評価をいただき、調光調色及び次世代無線調光システム「Synca」の採用に繋がりました。

また、営業活動においては動画を活用した展示会でのプレゼンテーションの再配信等、デジタルツールを活用することにも注力し、営業活動の効率向上に努めた結果、レンタル契約実績及び機器販売実績ともに堅調に推移しました。

この結果、売上高は2,335百万円（前年同四半期比22.2%の増収）となり、セグメント利益は220百万円（前年同四半期比21.8%の増益）となりました。

## c. インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、オフィス市場の開拓に注力し、同市場におけるブランド確立に向けた活動を展開しました。オリジナル家具の制作及び業者開拓、環境にやさしい素材を使った商品を提案しました。

オフィスで使いやすいテーブル及びチェアを拡充し、他メーカーと共同制作したオリジナルスツール及び環境にやさしい素材を使った商材等を取り入れたカタログ「AbitaStyle 12 改定版」を増刷し、更なるAbitaStyleブランドの認知向上を図りました。

また、行動制限緩和による人流回復を受け、ホテル関連への販売活動を強化しました。さらに、オフィスの多様化によって音環境に関する問題も増えてきていることから吸音パネルの受注獲得に向けた活動も積極的に進めました。

この結果、売上高は228百万円（前年同四半期比6.7%の増収）となり、セグメント損失は40百万円（前年同四半期は23百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、59,771百万円(前連結会計年度末比2,428百万円の増加)となりました。

主な要因は、「現金及び預金」の増加1,385百万円、「受取手形及び売掛金」の増加257百万円及び「棚卸資産」の増加531百万円によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、26,756百万円(前連結会計年度末比948百万円の増加)となりました。

主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加881百万円によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、33,014百万円(前連結会計年度末比1,479百万円の増加)となりました。

主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上760百万円、「繰延ヘッジ損益」の増加111百万円、「為替換算調整勘定」の増加814百万円及び「配当金の支払い」による減少221百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2023年4月28日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2024年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,050	13,436
受取手形及び売掛金	8,386	8,643
商品及び製品	11,358	11,944
仕掛品	272	287
原材料及び貯蔵品	1,236	1,167
その他	1,945	2,139
貸倒引当金	△109	△150
流動資産合計	35,140	37,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,508	9,637
減価償却累計額	△4,943	△5,059
建物及び構築物(純額)	4,564	4,578
機械装置及び運搬具	3,444	3,527
減価償却累計額	△2,994	△3,097
機械装置及び運搬具(純額)	449	430
レンタル資産	15,023	15,112
減価償却累計額	△7,877	△8,068
レンタル資産(純額)	7,146	7,043
土地	3,453	3,446
リース資産	534	505
減価償却累計額	△398	△377
リース資産(純額)	136	127
建設仮勘定	319	473
その他	3,754	3,878
減価償却累計額	△3,191	△3,274
その他(純額)	563	603
有形固定資産合計	16,634	16,703
無形固定資産		
ソフトウェア	406	400
のれん	2,368	2,409
その他	97	109
無形固定資産合計	2,871	2,919
投資その他の資産		
投資有価証券	72	84
退職給付に係る資産	20	33
繰延税金資産	945	889
その他	1,733	1,751
貸倒引当金	△75	△75
投資その他の資産合計	2,696	2,682
固定資産合計	22,202	22,304
資産合計	57,343	59,771

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,282	5,163
短期借入金	2,850	3,750
1年内返済予定の長期借入金	4,794	4,611
リース債務	66	57
未払法人税等	207	195
賞与引当金	572	441
役員賞与引当金	120	38
製品保証引当金	655	725
その他	2,415	2,581
流動負債合計	15,965	17,565
固定負債		
長期借入金	8,239	7,759
リース債務	73	70
繰延税金負債	332	301
役員退職慰労引当金	119	105
退職給付に係る負債	251	276
その他	826	677
固定負債合計	9,842	9,191
負債合計	25,807	26,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,516	5,516
利益剰余金	18,405	18,944
自己株式	△0	△0
株主資本合計	29,077	29,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	21
繰延ヘッジ損益	△67	43
為替換算調整勘定	2,625	3,440
退職給付に係る調整累計額	△114	△106
その他の包括利益累計額合計	2,457	3,398
非支配株主持分	0	0
純資産合計	31,535	33,014
負債純資産合計	57,343	59,771

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	10,135	11,758
売上原価	6,362	7,089
売上総利益	3,773	4,669
販売費及び一般管理費	3,135	3,806
営業利益	637	862
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	47
賃貸収入	34	39
為替差益	283	-
デリバティブ評価益	-	343
その他	7	17
営業外収益合計	342	448
営業外費用		
支払利息	24	23
賃貸収入原価	18	16
為替差損	-	256
その他	3	12
営業外費用合計	45	309
経常利益	935	1,001
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
役員退職慰労金	338	-
特別損失合計	338	-
税金等調整前四半期純利益	596	1,001
法人税、住民税及び事業税	174	260
法人税等調整額	71	△19
法人税等合計	245	241
四半期純利益	351	760
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	351	760

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	351	760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	7
繰延ヘッジ損益	15	111
為替換算調整勘定	1,118	814
退職給付に係る調整額	4	7
その他の包括利益合計	1,136	940
四半期包括利益	1,487	1,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,487	1,701
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,028	1,893	213	10,135	10,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	995	17	—	1,013	1,013
計	9,024	1,911	213	11,149	11,149
セグメント利益又は損失(△)	701	181	△23	859	859

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	859
セグメント間取引消去	18
未実現利益の調整額	10
全社費用(注)	△250
四半期連結損益計算書の営業利益	637

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	9,207	2,323	228	11,758	11,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,300	12	—	1,313	1,313
計	10,507	2,335	228	13,072	13,072
セグメント利益又は損失(△)	1,036	220	△40	1,216	1,216

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,216
セグメント間取引消去	23
未実現利益の調整額	△22
全社費用(注)	△354
四半期連結損益計算書の営業利益	862

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。